JR東日本ニュース

２０２５年５月２０日
東日本旅客鉄道株式会社
首　都　圏　本　部

# 未利用スペース利活用促進アプリケーションの開発について

○JR東日本首都圏本部では、社内未利用スペースを活用するため、工事に携わる設備部門の社員が利活用促進アプリケーション「バショカツ！」を開発しました。
○「バショカツ！」は当社社員の誰もが投稿・閲覧可能なアプリケーションであり、駅等の未利用スペースを共有することで情報を見える化し、未利用スペースを通じた駅の価値向上や利便性向上を目的としています。
○今後は「バショカツ！」に投稿された未利用スペースを利活用し、お客さまのニーズに合わせた質の高い情報をタイムリーに提供することで、お客さまのご期待に応える駅を創ってまいります。
※アプリケーションは Microsoft PowerApps により作成したもの

## 1. 開発の経緯

JR東日本では、混雑緩和やバリアフリールートの拡充などのために駅の改良工事を進めています。その中で、コンコースや工事用仮囲いの壁面をはじめとした未利用スペースがあることに着目しました。そのスペースを有効活用することで、駅の価値向上やお客さまの利便性向上に繋げられる可能性があると考え、未利用スペースの利活用促進アプリケーションを開発することにしました。

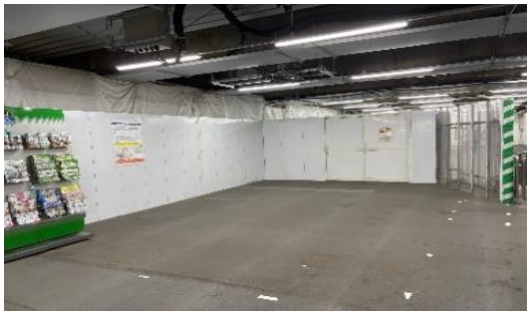
## 2. 開発内容

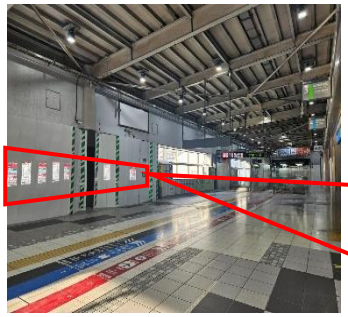
これまでは、工事用仮囲いには工事のお知らせを掲出するのみに使用されていました。今回開発したアプリケーション「バショカツ！」は、当社社員の誰もが未利用スペースの情報を投稿することができます。そのため、お客さま向けにポスター掲出場所を探していた他の社員は、投稿された未利用スペースの情報を容易に取得することができ、これまでよりも効率良くサービス向上に寄与できます。

活用事例として、設備部門の社員が投稿した工事用仮囲いの壁面（上野駅・秋葉原駅）に、駅社員がお客さまへのご案内や駅のイベント告知のポスターを掲出しました。

アプリケーションのトップ画面

アプリケーションのメイン画面


工事用仮囲い


活用例

ポスター例

※写真・画像などは全てイメージです。実際のものとは異なる場合があります。